

平成19年度 教職10年目研修
事後アンケート集計結果

平成21年 3 月

栃木県総合教育センター

1 目的

平成19年度教職10年目研修が終了し一定期間を経過した後に、研修成果を調査・分析することにより、研修内容の充実を図る。

2 対象

平成19年度教職10年目研修（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）の研修教員と勤務校の校長。ただし、宇都宮大学教育学部附属小・中・特別支援学校の研修教員は除く。

○小学校、中学校 校長 86名、研修教員 95名

○高等学校、特別支援学校 校長 43名、研修教員 72名

3 実施時期

平成20年6月～10月

4 内容

【結果の概要】

【アンケート結果 小・中学校】

【アンケート結果 高等学校・特別支援学校】

【資料】

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート 様式Ⅰ（校長用）

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート 様式Ⅱ（研修教員用）

教職10年目研修（高等学校・特別支援学校）事後アンケート 様式Ⅰ（校長用）

教職10年目研修（高等学校・特別支援学校）事後アンケート 様式Ⅱ（研修教員用）

【集計結果の概要】

1 研修教員は、研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上した。

学習指導力、児童・生徒指導力、学級経営力のいずれも、「かなり向上した」あるいは「ある程度向上した」という回答が、校長、研修教員ともに小・中学校で約8割、高等学校・特別支援学校で9割を超えている。そのほか、校務を広い視野でとらえ一層意欲的に取り組むなど意識の変化が見られた、常に課題意識を持って職務にあたるようになったという内容の回答が見られる。

2 研修終了時の研修教員についての評価を、その後の指導や研修に活用し、効果があった。

研修終了時の評価をその後の指導や研修に、「十分に活用した」あるいは「ある程度活用した」という回答が9割を超えている。活用したことで、研修教員の意欲や自覚が高まったとする回答が多い。特に効果を高めるために工夫した点としては、面談等で校内の諸課題について意見交換を行ったことなどが挙げられている。

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対しても効果や影響があった。

教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響が、「かなりあった」あるいは「ある程度あった」という回答が、小・中学校で約8割、高等学校・特別支援学校で約9割である。効果や影響の内容としては、研修教員の意欲的な研修の姿により周囲の教員の自己研修の意識が高まった、公開授業や授業研究会等を通して多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができたとする回答が多い。

4 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに研修終了後も自主研修に取り組んでいる。

研修終了後も自主研修に「積極的に取り組んでいる」あるいは「ある程度取り組んでいる」という回答（研修教員）が小・中学校で9割、高等学校・特別支援学校で7割以上である。自主研修の分野としては、学習指導が最も多い。具体的には、課題研究のテーマに継続して取り組んでいる、総合教育センターの土曜開放講座に参加したなどの回答が見られる。

5 平成19年度の校内研修において、有効だった研修

校長、研修教員ともに、「教科（学習）指導に関する研修」、「公開授業と授業研究会」、「児童・生徒指導に関する研修」が有効だったとする回答が多い。特に工夫した点としては、児童の様子に視点をあてた授業研究に力を入れた、スクールカウンセラーを活用したなどの回答が見られる。

6 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役に立っている。

総合教育センター等におけるどの研修に関しても、「かなり役立っている」あるいは「ある程度役立っている」という回答（研修教員）が9割以上である。項目別にみると、学習指導に関する研修の項目で「かなり役立っている」とする回答の割合が高い。

7 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等

校長、研修教員ともに、引き続き学習指導や児童・生徒指導に関する研修の更なる充実を希望する回答が多い。また、校長の回答の中には、学級経営、ホームルーム経営に関する研修、特別支援教育に関する研修をあげているものが複数見られる。研修教員からは、先輩教師や民間人を講師とした研修を希望する回答が複数見られる。今後の研修を企画する際の参考としたい。

アンケートから、多くの研修教員が本研修の成果を指導力向上に結びつけているとともに、研修後も意欲的に自主研修に取り組んでいることがうかがえる。また、本研修が、研修教員だけでなく、それぞれの学校の研修教員以外の教員にもよい効果・影響を与えていると言える。

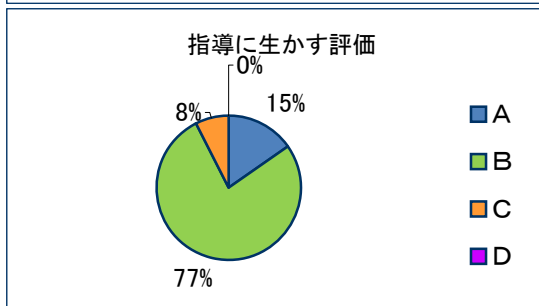
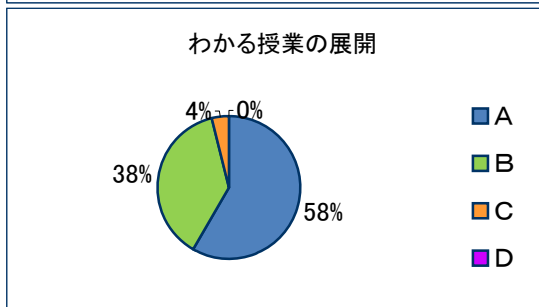
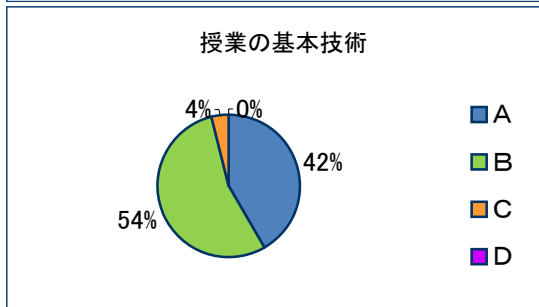
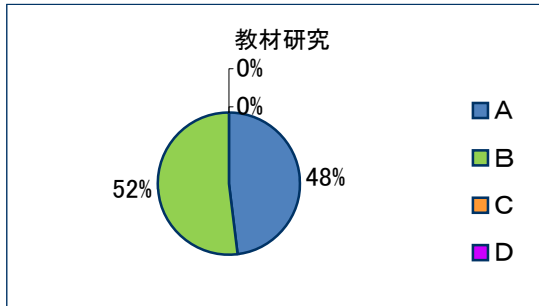
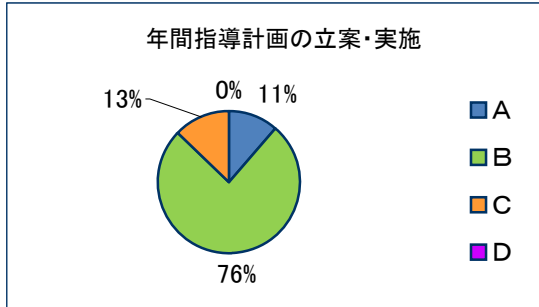
【アンケート結果 小・中学校】

1-1 研修教員が研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上したか。
 (回答者：校長、研修教員)

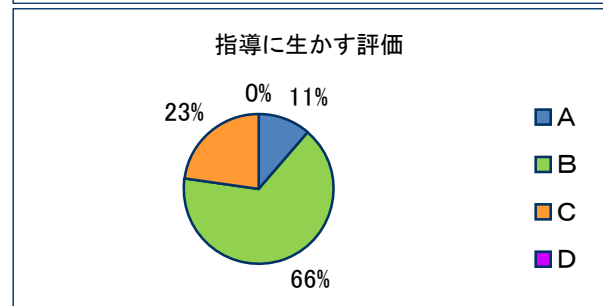
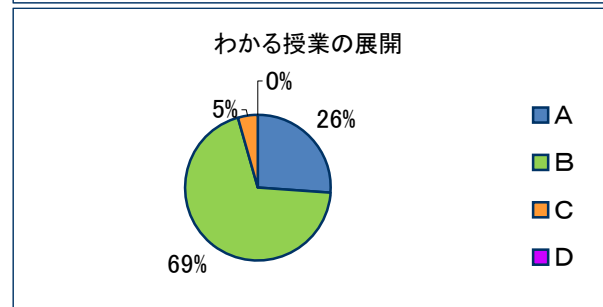
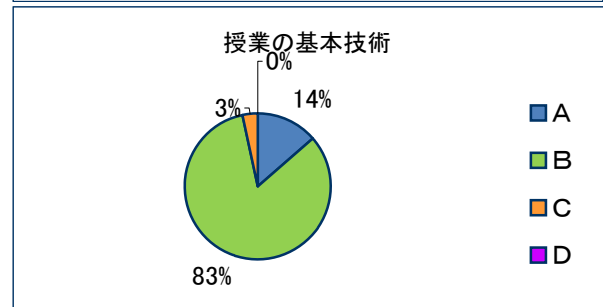
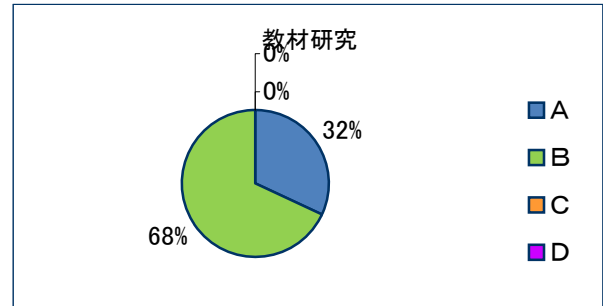
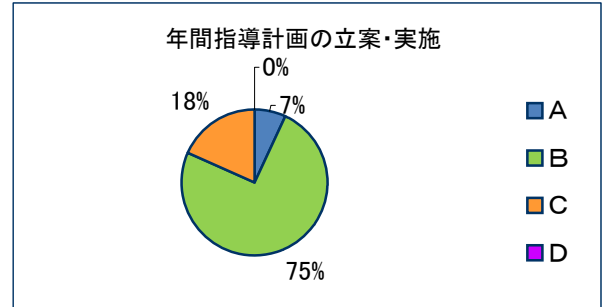
■ A かなり向上した ■ B ある程度向上した ■ C あまり向上していない ■ D 全く向上していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上したか。

【校長】

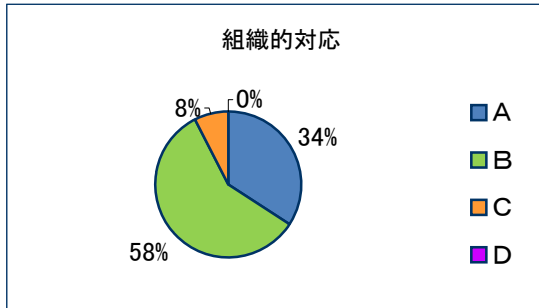
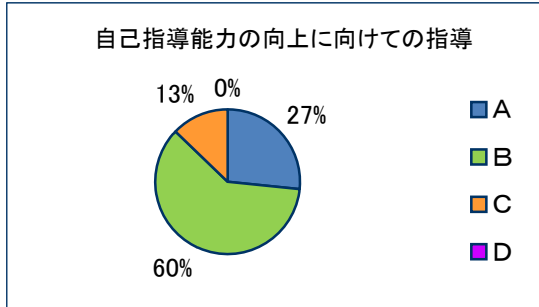
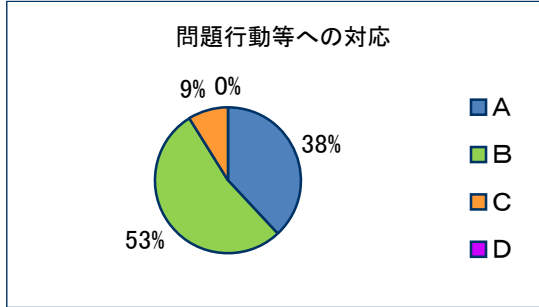
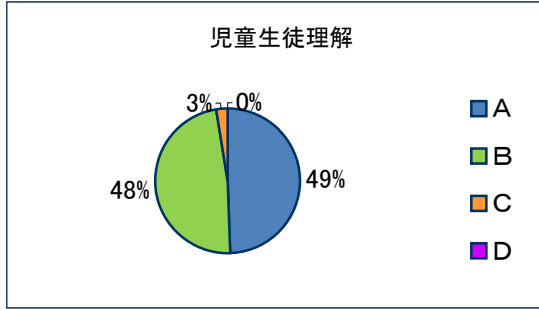
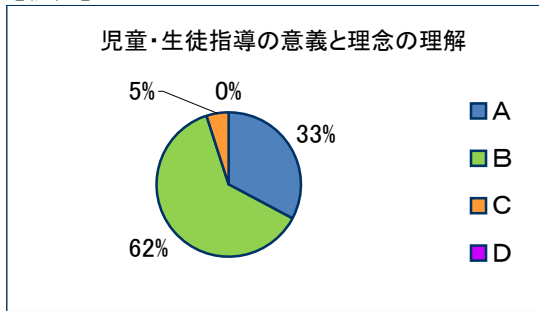


【研修教員】

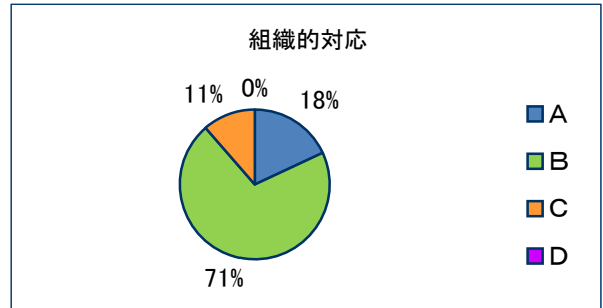
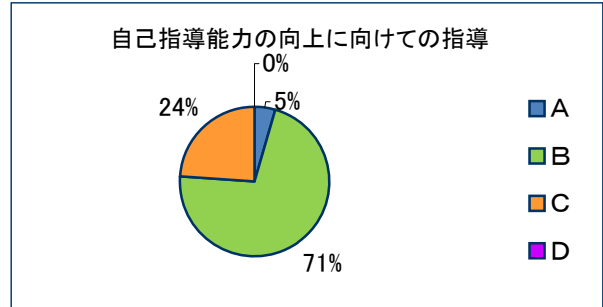
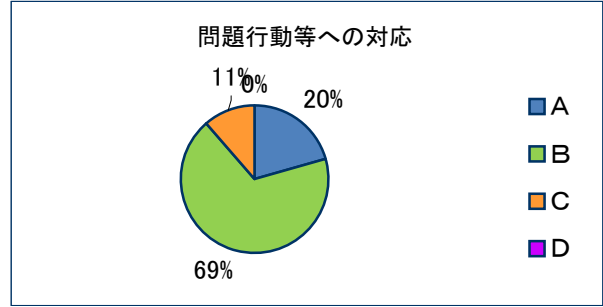
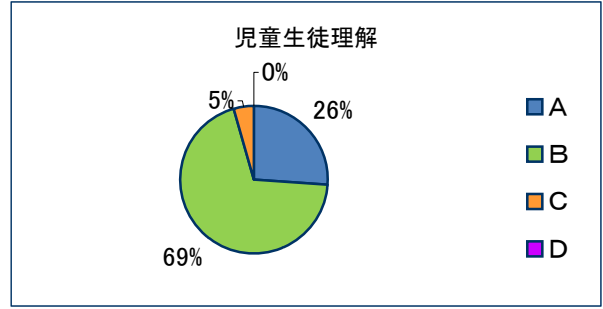
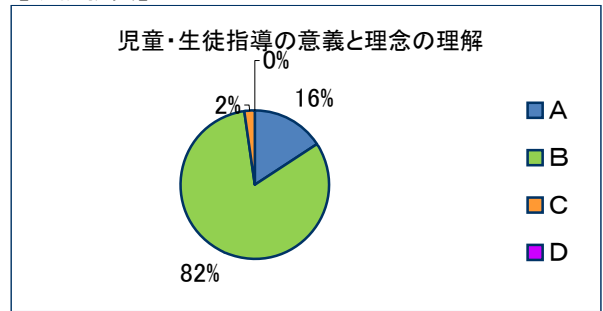


イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上したか。

【校長】

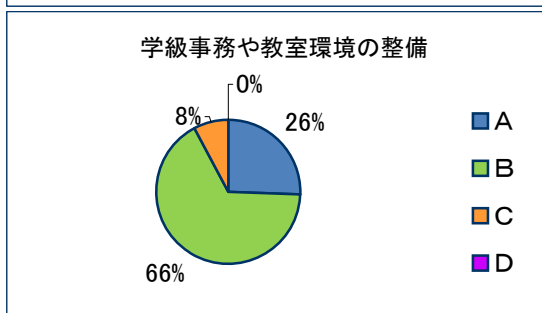
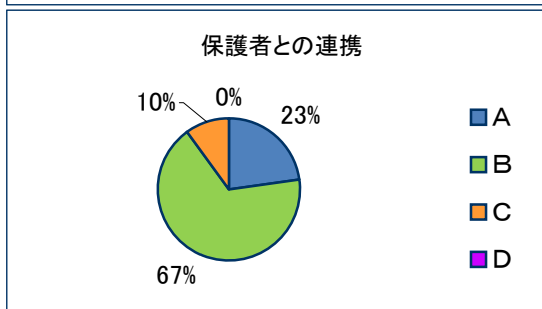
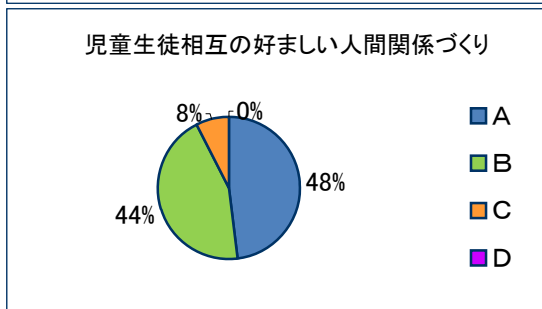
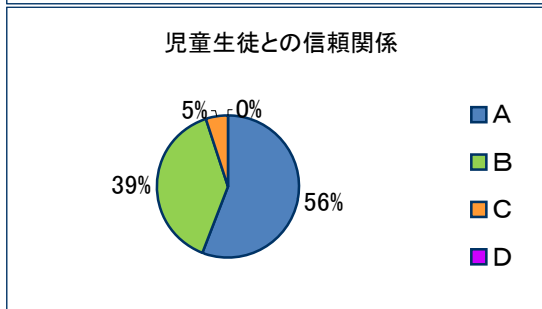
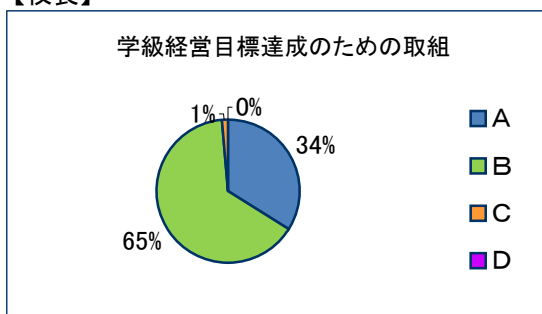


【研修教員】

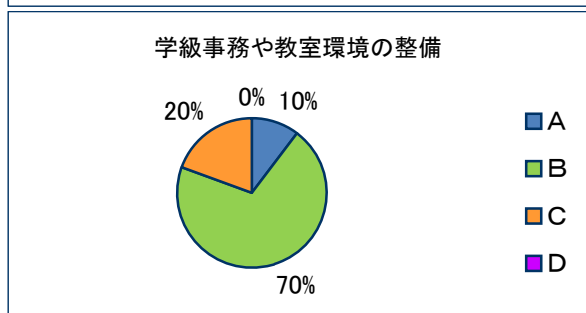
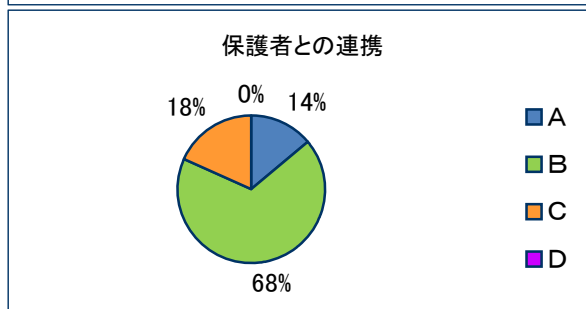
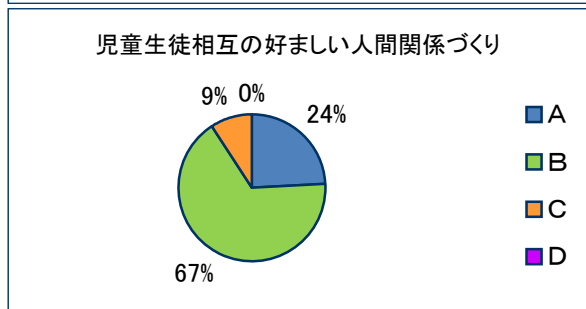
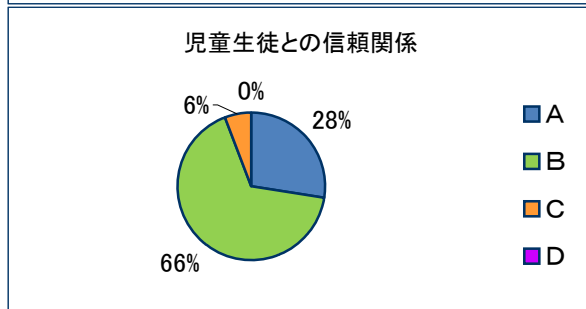
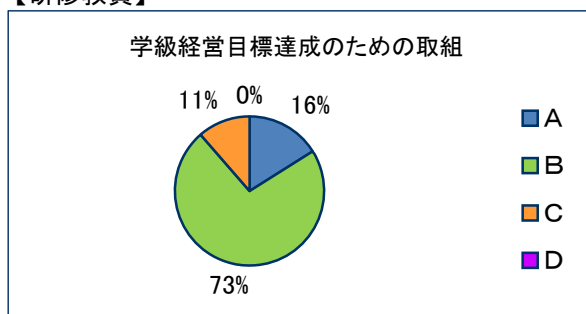


ウ 研修成果を生かし、学級経営力が向上したか。

【校長】



【研修教員】



1-2 ア～ウの項目以外のことについての主な記述内容

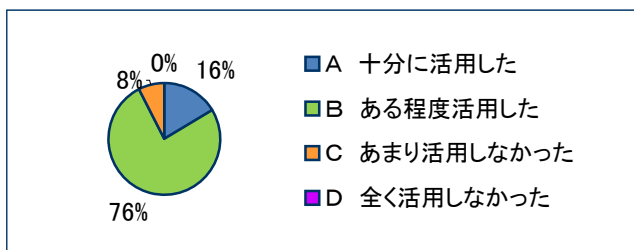
【校長】

- ・ 組織としての協働意識が高まった
- ・ 教員としての自覚とともに、職員間の和の大切さを意識した言動が多くなった。
- ・ 教育に対してより前向きになった。自分の立場を考え、全校的視野で見られるようになった。
- ・ 社会体験研修等で接客や仕事に対する心構えを知り、実践することで、信頼される学校づくりにもつながることに気がついた。
- ・ 部活動等、教育課程外の教育的活動にも深く理解し、本校教職員の信頼も厚くなり、存在感が以前にも増して高まった。
- ・ 学年生徒指導担当として、組織的対応の中心的な役割を積極的に行っている。
- ・ 特別支援教育のケース会議を経て、個々の指導計画を作成し、それに基づいた指導に取り組み成果を上げている。児童指導主任として全体を視野に入れた取組をし、若い職員の指導にも意欲的であった。
- ・ 今年度、同教科の初任者をむかえ、先輩教師として教科の指導、生徒指導等に本研修の成果を生かし、アドバイスをを行っている。

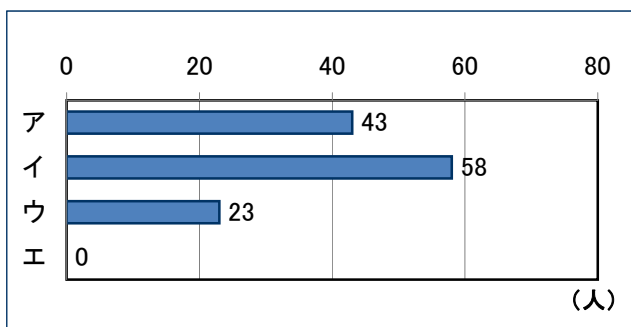
【研修教員】

- ・ 地区別で行った道徳についての研修が役立った。授業の組み立て方等、初歩的なところから、わかりやすく説明していただき、参考になった。
- ・ 職場体験を通して自ら学び感じたことを進路学習に役立てることができた。

2-1 研修後評価をその後の指導や研修に活用したか。（回答者：校長）



2-2 活用したことでどんな効果があったか。（複数回答）（回答者：校長）



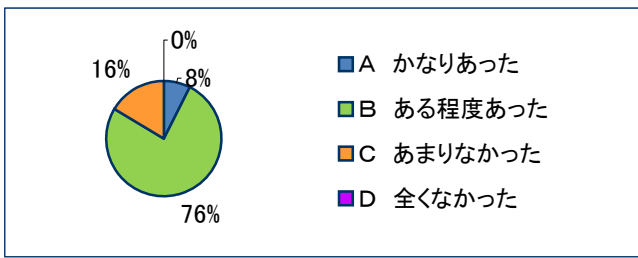
- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
- イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
- ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
- エ その他

2-3 効果を高めるために特に工夫した点。（回答者：校長）

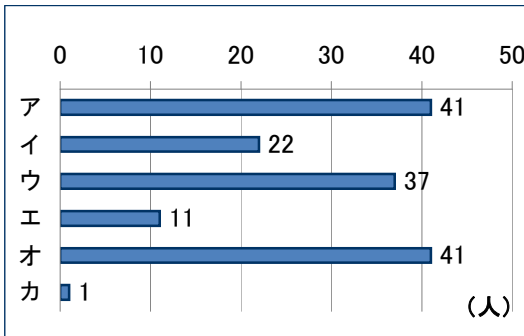
【主な記述内容】

- ・ 話し合う機会を多くもつようにした。
- ・ 自主的研修を奨励し、各種の研修会への参加を呼びかけた。
- ・ 報告・連絡・相談が密にとれるように校長から声かけをこまめにした。
- ・ 研修教員のよさや努力している点を本人にフィードバックするように努めた。
- ・ 若い職員への指導、情報提供など意欲を高めるため面談に力を入れた。
- ・ 校務分掌で責任を自覚させ随時指導の継続を図った。
- ・ 20年目研修までの10年は本人の自覚と自己目標の有無が大きく左右することを確認した。

3-1 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響があったか。
 (回答者：校長)



3-2 どんな効果や影響があったか。(複数回答) (回答者：校長)

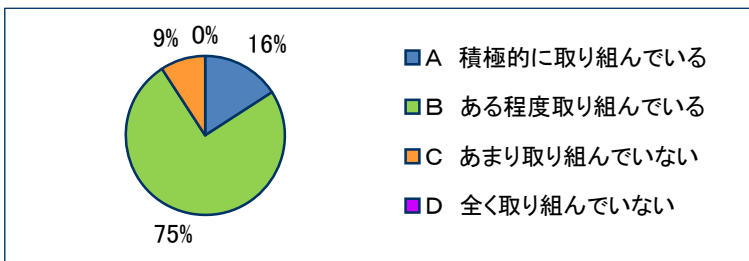


ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
 イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
 ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。
 エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
 オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
 カ その他

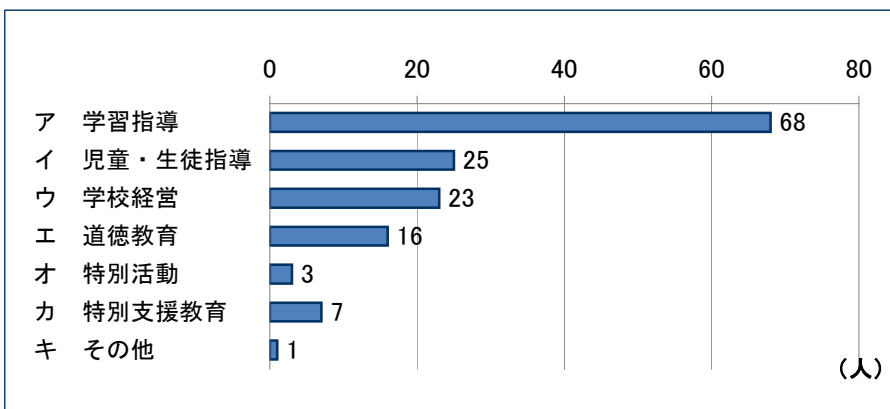
(「カ その他」の主な記述内容)

- ・同じ学年の初任者へ好ましい影響があったと思われる。

4-1 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいるか。
 (回答者：研修教員)



4-2 どんな研修に取り組んでいるか。(複数回答) (回答者：研修教員)



(「キ その他」の主な記述内容) 人権教育

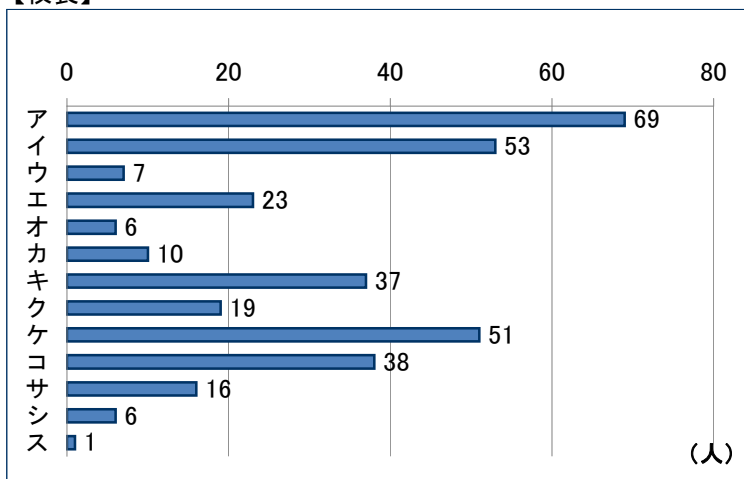
4-3 具体的にどのように進めているか。(回答者:研修教員)

【主な記述内容】

- ・意欲をもって学習に取り組める支援、自信がもてるような「できた」と感じられる学習活動、「できた」ことが定着できるような支援について取り組んでいる。
- ・音楽科を中心に授業の構成・展開の工夫を考えながら教材研究を行っている。
- ・体育の教材教具についての情報提供、地区研修会への参加など、積極的に行っている。また、サマースクールを開き、児童の課題に応じた指導・支援の仕方を研究している。
- ・学級の実態にあわせた新しい教材の発掘や開発
- ・「わかる授業」を目指して、授業展開や板書の工夫を考慮した授業研究を実践してきた。
- ・課題研究を通して得られた成果を、社会科の授業を展開する上で取り入れている。
- ・生徒が主体的に、意欲的に学習に取り組めるような授業を目指して学習カード、場の設定、学習形態の工夫などに取り組んでいる。
- ・総合教育センターの土曜開放講座に参加している。
- ・児童一人一人が成就感を味わうことができるように授業展開を工夫すると共に指導と評価を一体化しながら教材研究を行っている。
- ・10年目研修では算数を中心に取り組んでいたが、今年は教科をかえて国語で研修を進めている。評価方法等、研修で得たことをもとに今年度に生かしている。
- ・校内研修として他教科の先生に授業を参観してもらい助言や指導を頂いた。
- ・校外での研修会にも積極的に参加し、勉強している。
- ・現職教育において道徳研究授業を行い、指導法について学ぶことができた。

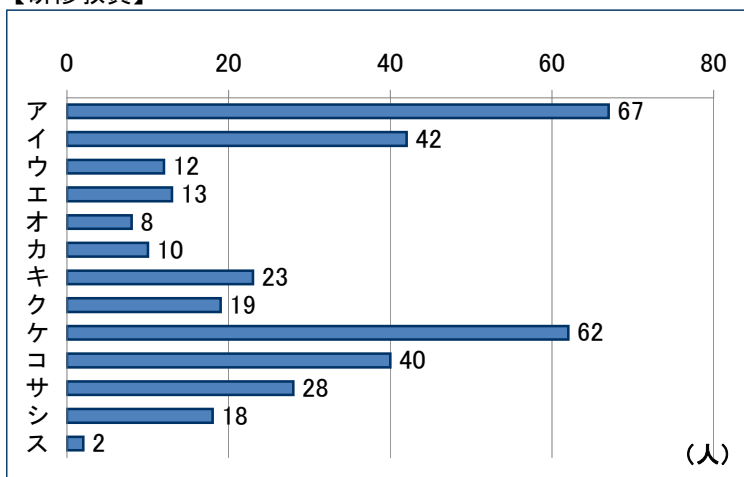
5-1 平成19年度の校内研修では、どのような研修が有効だったか。(複数回答) (回答者:校長、研修教員)

【校長】



- ア 教科(学習)指導に関する研修
- イ 児童・生徒指導に関する研修
- ウ 学校経営に関する研修
- エ 教育相談に関する研修
- オ 進路指導に関する研修
- カ 情報機器の活用等に関する研修
- キ 特別支援教育に関する研修
- ク 人権教育に関する研修
- ケ 公開授業と授業研究会
- コ 課題研究
- サ 先輩教員等による授業
- シ 管理職等の講話
- ス その他

【研修教員】



- ア 教科(学習)指導に関する研修
- イ 児童・生徒指導に関する研修
- ウ 学校経営に関する研修
- エ 教育相談に関する研修
- オ 進路指導に関する研修
- カ 情報機器の活用等に関する研修
- キ 特別支援教育に関する研修
- ク 人権教育に関する研修
- ケ 公開授業と授業研究会
- コ 課題研究
- サ 先輩教員等による授業
- シ 管理職等の講話
- ス その他

(「ス その他」の記述内容) 道徳に関する研修、栄養士との食育の授業と教材研究

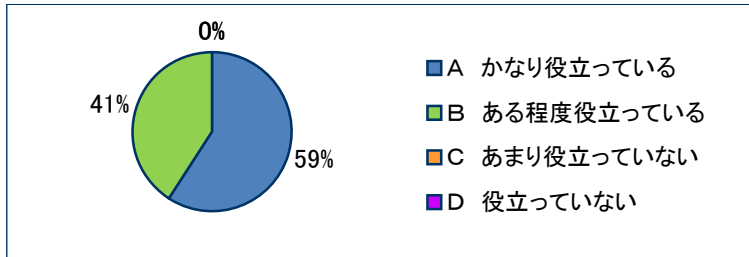
5-2 特に工夫した点。(回答者：校長)

【主な記述内容】

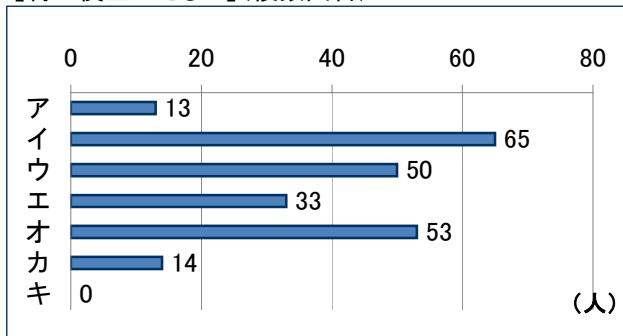
- ・単学級ということで低・高と2ブロックであるが、ブロック内で授業研究を行うとともに、ブロック間の交流も必ず実施することにより、効果を上げることができた。
- ・10年目研修の教員の授業を皆で参観し感想意見（児童の様子に視点をあて）をカードに書きそれをもとに研修し合えた。皆の意識（授業に対する）が高まり授業力向上にもつながったと思う。
- ・具体性の高い授業研究の場が研修の成果に結びつきやすい。人権教育は講師から多くの示唆・資料をいただいた。

6 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役に立ったか。(回答者：研修教員)

(1) 学習指導に関する研修

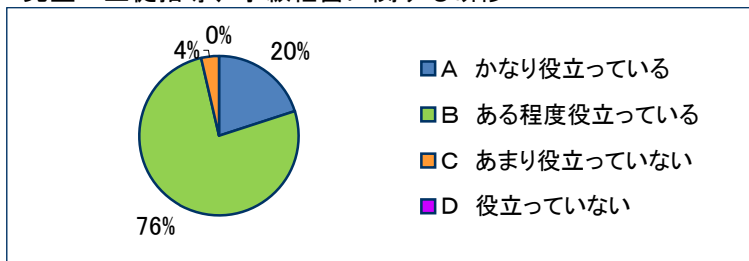


【特に役立ったもの】(複数回答)

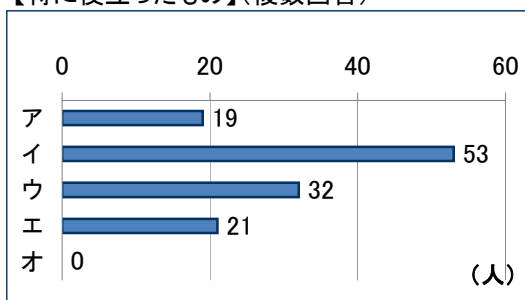


- ア 講話「今、求められる学習指導の在り方」
- イ 教科別分科会
- ウ 公開授業A、授業研究会
- エ ビデオによる授業研究
- オ 課題研究
- カ 児童・生徒等による授業評価
- キ その他

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修

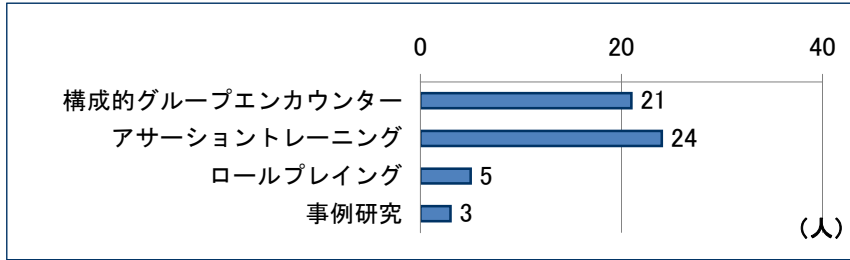


【特に役立ったもの】(複数回答)

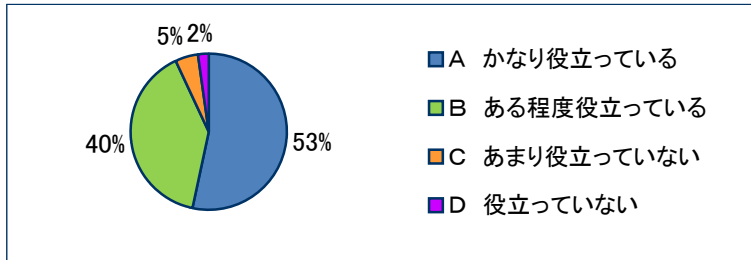


- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
- イ 児童・生徒指導に関する選択研修
- ウ 実践発表「私の進めた学級経営～望ましい集団活動を通して～」
- エ 地域における児童・生徒指導の在り方
- オ その他

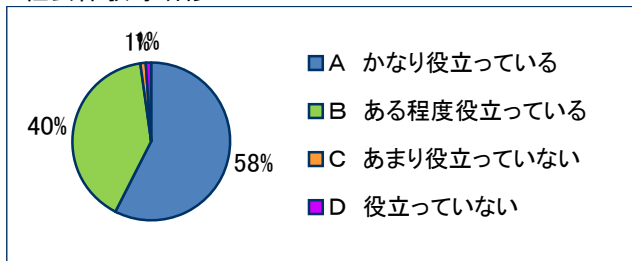
※「イ 児童・生徒指導に関する選択研修」を選んだ研修教員の選択したコース



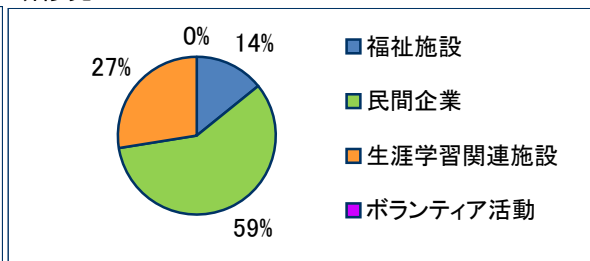
(3) 道徳教育に関する研修



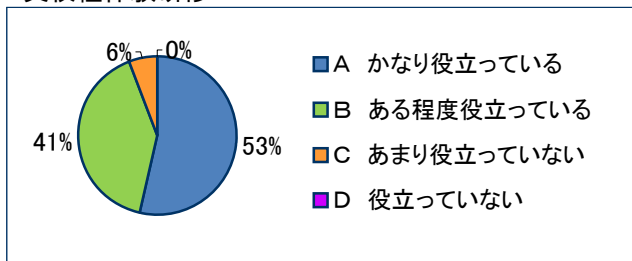
(4) 社会体験等研修



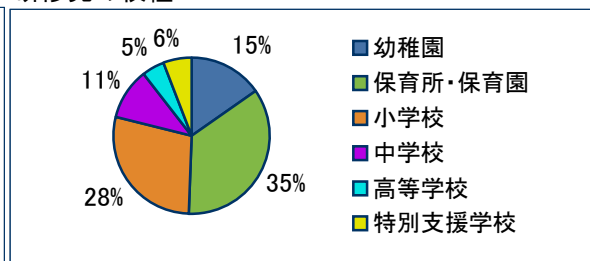
研修先



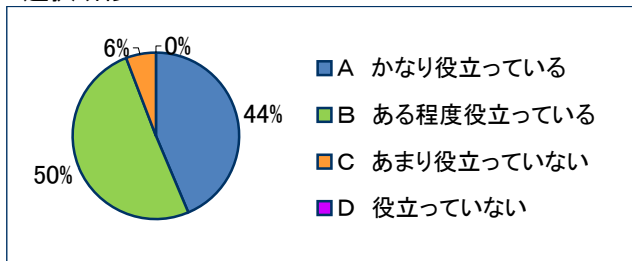
(5) 異校種体験研修



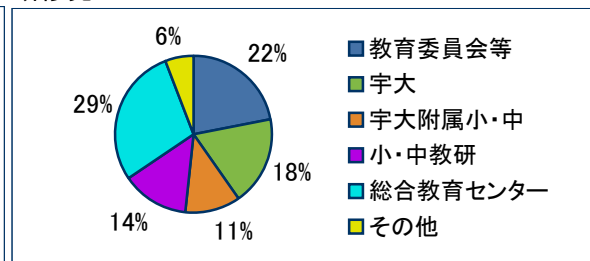
研修先の校種



(6) 選択研修



研修先



7 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等。（主な記述内容）
（回答者：校長、研修教員）

【校長】

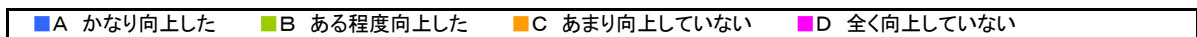
- ・ 公文書についての基本知識の理解・習得と作成する技能の習得
- ・ 教科経営を充実させるのもっとも重要な時と考えます。研究授業を通して教師力を向上させられるような授業研究を引き続き進めていただきたい。
- ・ 特別支援教育の理解が不十分であるように思います。事例研究等を含めた実践的研修も取り入れていただきたい。
- ・ 児童・生徒指導に関する選択研修はそれぞれに大切なことであり、複数選択してみてもどうでしょうか。
- ・ 保護者への適切な対処の仕方について
- ・ 宿泊体験研修を実施し、集団宿泊学習の指導法を研修するとともに、同年輩の教員同士が日ごろの悩みや抱負などを語り合える機会を設けてほしい。
- ・ 退職教員との交流、県の施設・名所旧跡の見学
- ・ カウンセリング技術を高める研修
- ・ 教育法規関係の演習を
- ・ 教育相談研修で保護者面談・発達障害児童への対応の仕方の実際を指導してほしい。
- ・ 新学習指導要領についての指導の実際、教育界の情報などを教えてほしい。
- ・ 個々の教員の資質・意欲の向上を図る研修
- ・ 学校経営にもとづいた学年経営・教科経営の考え方や実践についての研修など

【研修教員】

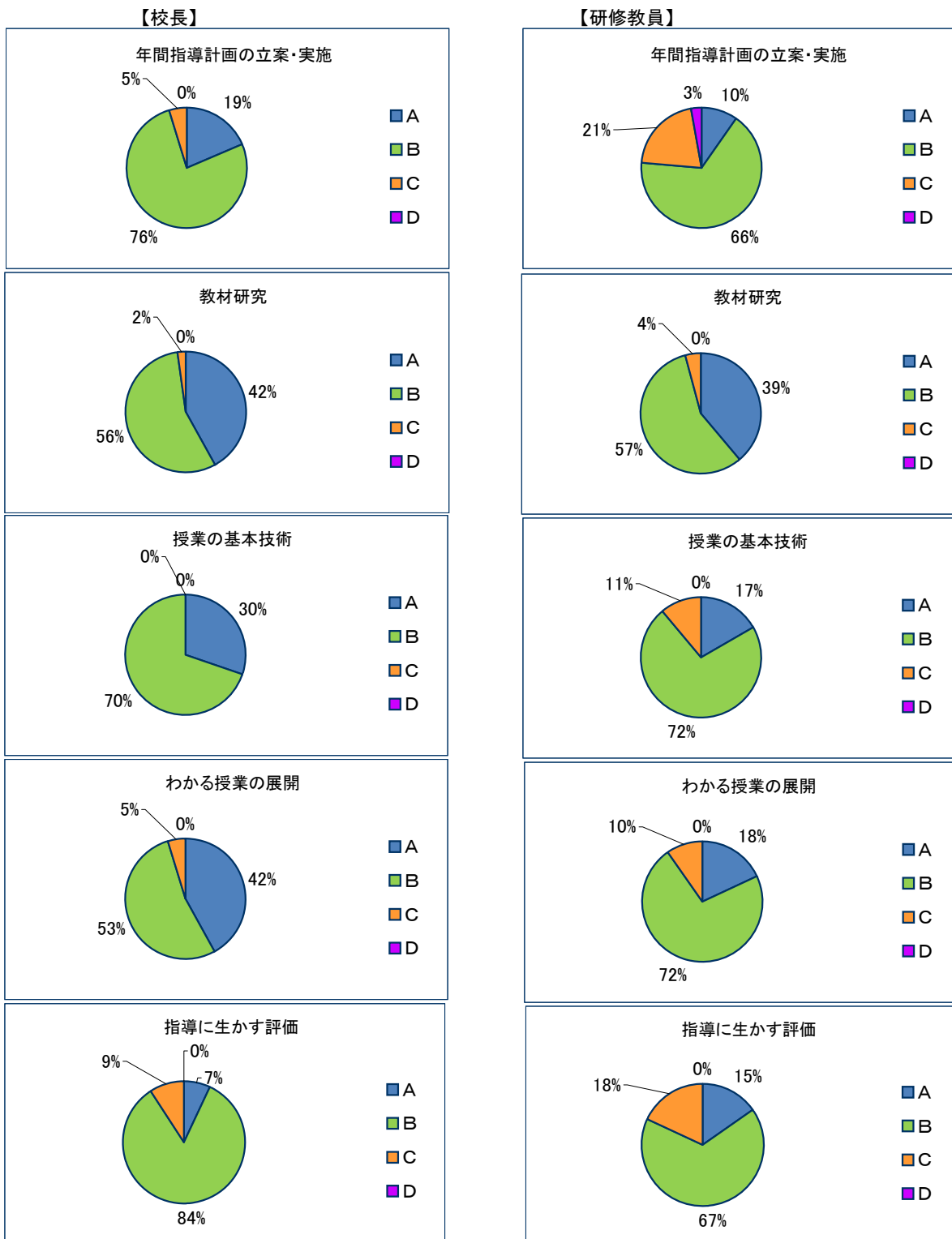
- ・ 実践発表的なものを多く取り入れてほしいです。
- ・ 情報機器を用いた教材研究の方法等を取り入れてほしいです。
- ・ 「通常学級で行う特別支援教育」といったような研修があるとありがたいです。
- ・ 10年目研修の中にも情報機器の活用（ソフトウェアの使い方）などの研修を入れて欲しい。
- ・ 初任研のときに実施した宿泊研修があってもよいかなと思いました。
- ・ 何年か前まで行っていたボランティア活動などもよいのではないかと思います。
- ・ 児童指導に関するものを選択でなくできるとうれしい。保護者への対応（連携や保護者への伝え方）
- ・ 保護者との望ましい人間関係を築くために必要なことを学ぶ時間がほしいです。（法律や事例など）
- ・ 教育心理学について（児童・生徒の心理）
- ・ 新学習指導要領についての説明や教育界の動向、最新情報などについて研修に入れていただけるとありがたいと思います。
- ・ 法規についてももう少し詳しく学びたい
- ・ 人権教育について、研修で深く学べるとよいと思いました。
- ・ 異校種体験の日数を増やしてほしい。小学校だけでなく、高校へも行ってみたいかったです。

【アンケート結果 高等学校・特別支援学校】

1-1 研修教員が研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上したか。
 (回答者：校長、研修教員)

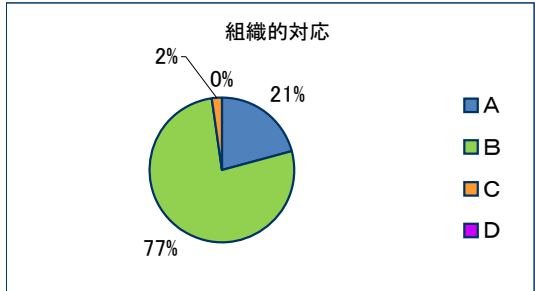
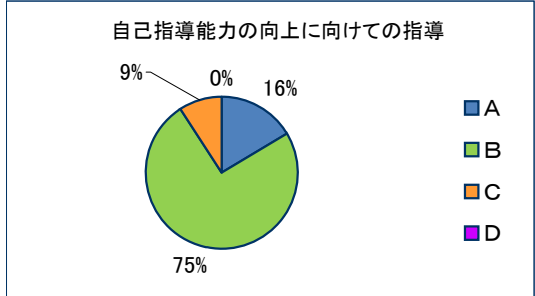
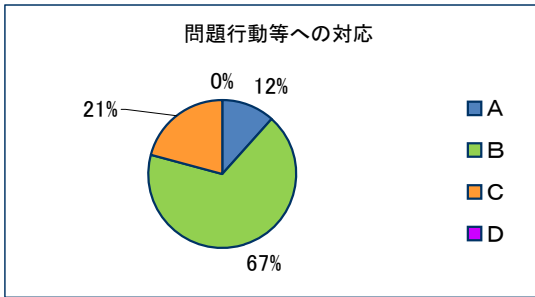
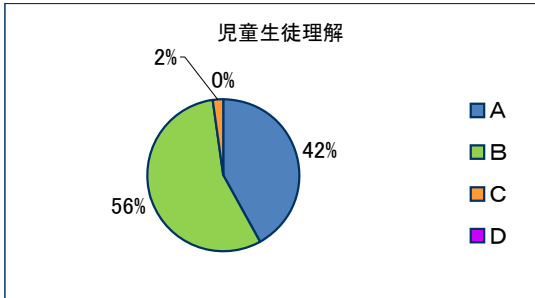
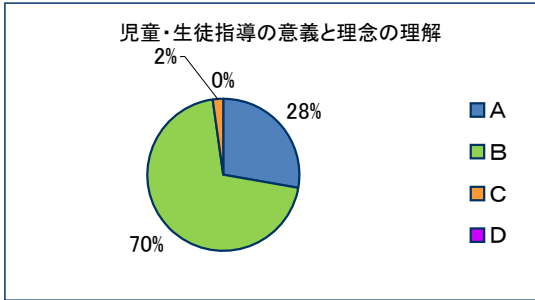


ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上したか。

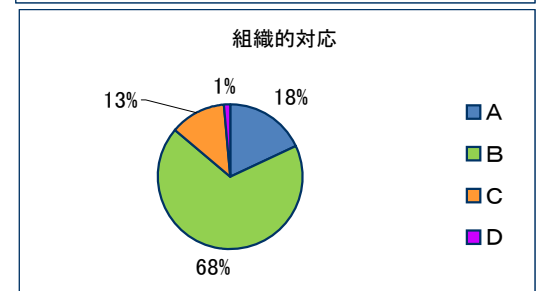
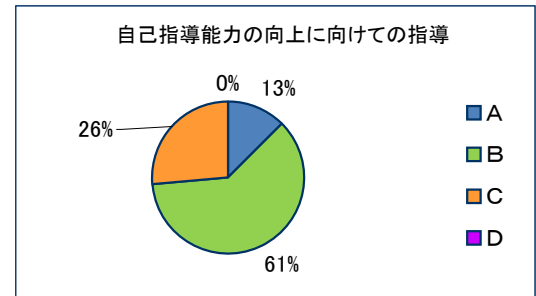
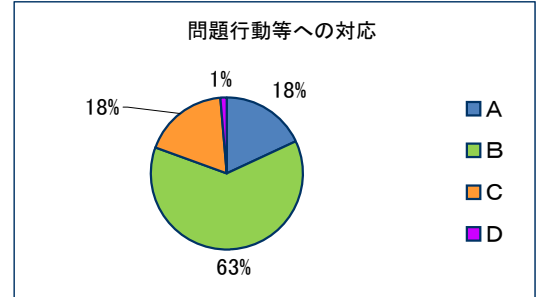
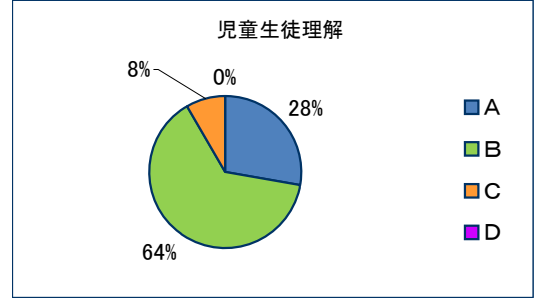
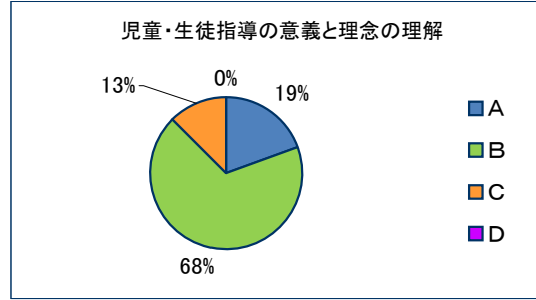


イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上したか。

【校長】

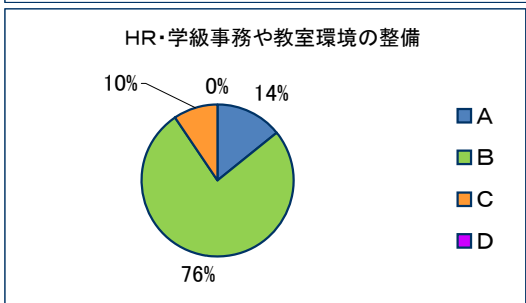
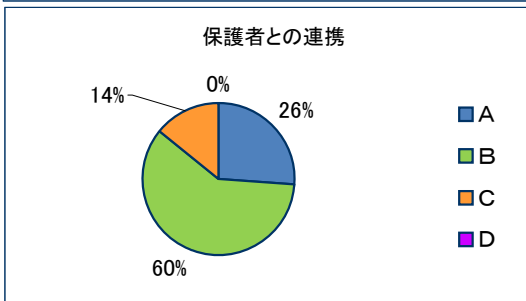
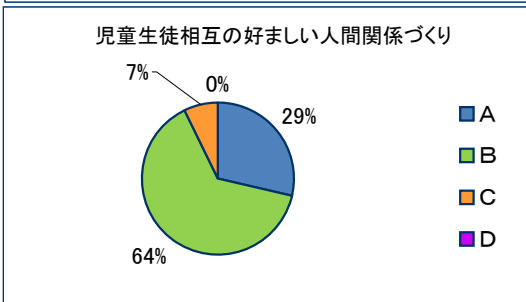
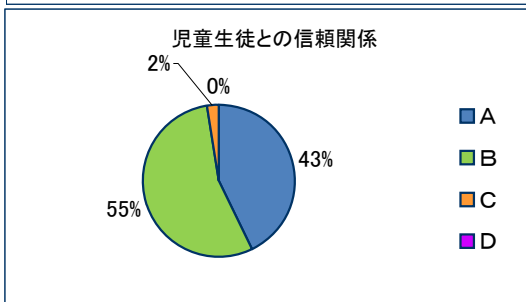
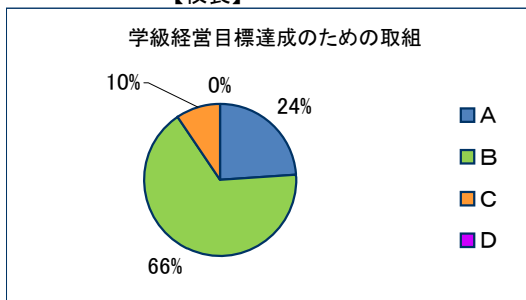


【研修教員】

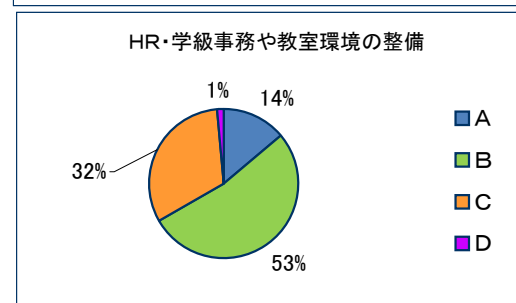
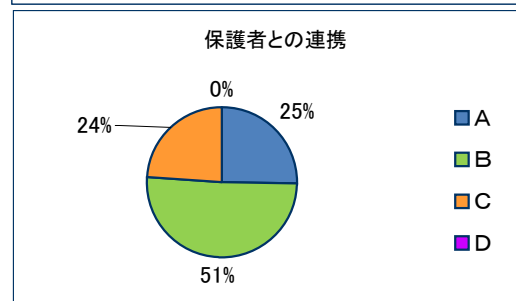
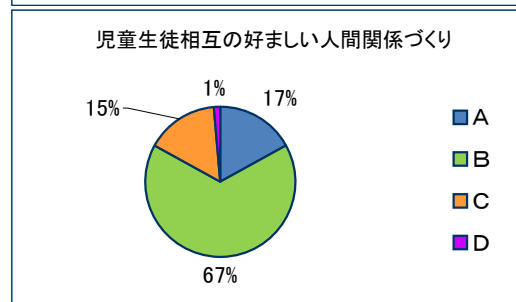
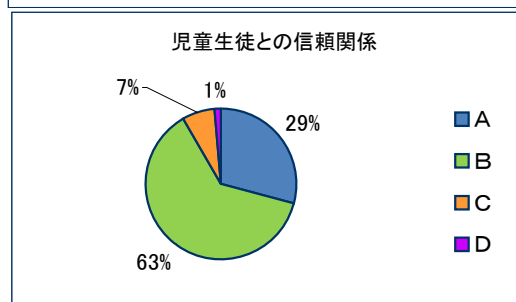
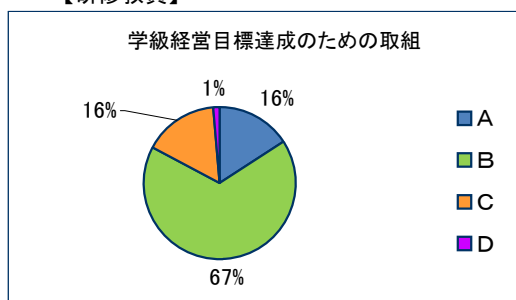


ウ 研修成果を生かし、学級経営力が向上したか。

【校長】



【研修教員】



1-2 ア～ウの項目以外のことについての主な記述内容

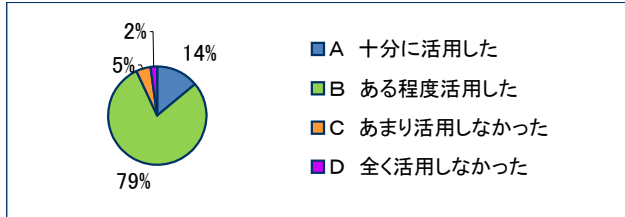
【校長】

- ・校務を広い視野でとらえ、いっそう意欲的に取り組むなど意識の変化が見られる。
- ・本校において最も若い教諭として、運営委員会等でも建設的な意見を述べ、本校の活性化に寄与している。
- ・教科主任として教科内の運営や授業力アップに向けた研究授業の立案、実施など意識して取り組んでいる。
- ・副担任の立場から、よく学年・担任をサポートしている。

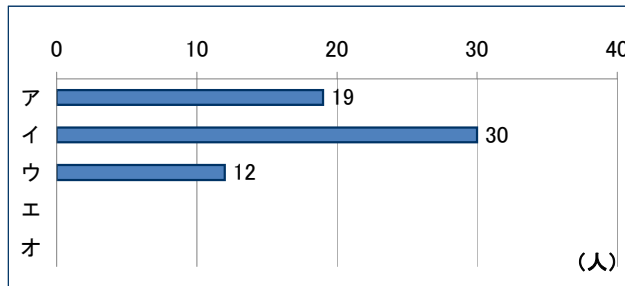
【研修教員】

- ・高校3年間を見通した指導計画の立案を行うようになった。
- ・常に課題意識を持って、職務にあたるようになったと感じている。

2-1 研修終了時の研修教員についての評価をその後の指導や研修に活用したか。(回答者：校長)



2-2 研修終了時の研修教員についての評価をその後の指導や研修に活用したことでどんな効果があったか。(回答者：校長)

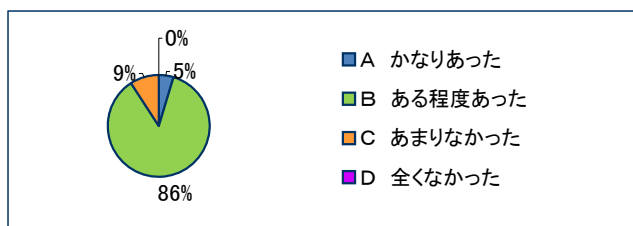


- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
- イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
- ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
- エ 校務分掌や学級担任を決定する際、スムーズにできるようになった。
- オ その他

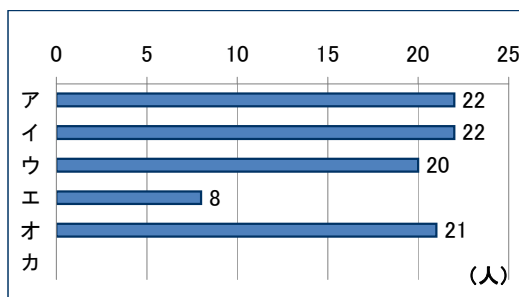
2-3 特に効果を高めるために工夫した点。(回答者：校長)(主な記述内容)

- ・新たな教職員評価制度の面談と合わせて実施したことが、意欲や自覚を高める上で、効果的であった。
- ・教員との対話を重視し、校内の諸課題について意見交換を行った。
- ・研修後の評価と教職員評価について、期末面談の中でクラス経営や学習指導に取り組む姿勢を高く評価し、意欲を喚起できた。
- ・教頭や指導教員も交えて研修教員と話し合うことにより、より適切な評価と効果的な事後研修が行えたと思う。

3-1 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響があったか。
 (回答者：校長)

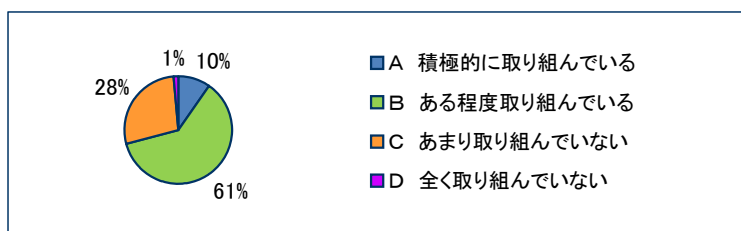


3-2 どんな効果や影響があったか。(複数回答) (AまたはBを選択した場合のみ回答)

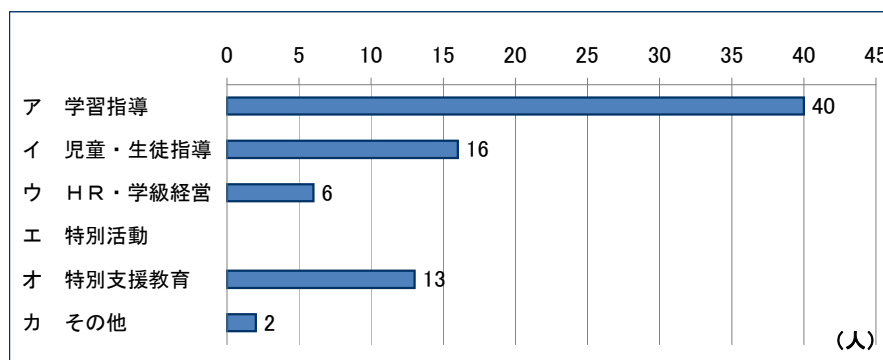


- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
- イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
- ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。
- エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
- オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
- カ その他

4-1 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいるか。
 (回答者：研修教員)



4-2 どんな自主研修に取り組んでいるか。(回答者：研修教員)

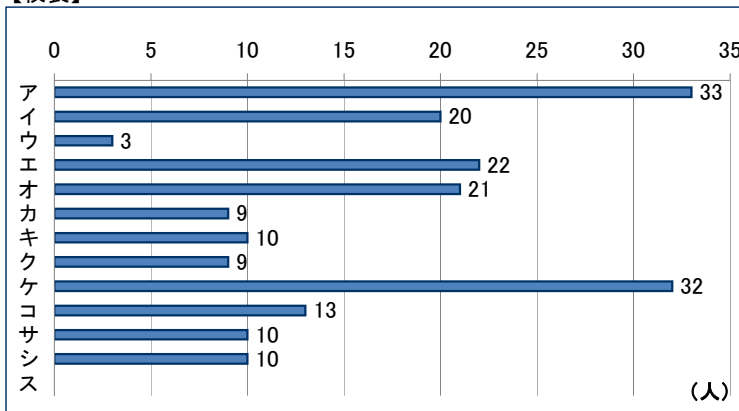


4-3 自主研修をどのようにすすめているか。(回答者：研修教員)

- ・昨年、課題研究で取り組んだ理解を深めるための補助教材作りを継続するとともに、授業で使用し、改善を加えている。
- ・現在、受験学年を担当していることもあり、入試を意識した授業用プリントの作成について工夫している。
- ・生徒実態に即した教材研究、授業の展開を意識し、実践している。
- ・対人関係の向上を目指し、HRや授業の中でソーシャルスキルトレーニングを取り入れ実践している。
- ・自閉症児の社会適応能力に関する研究を行っている。

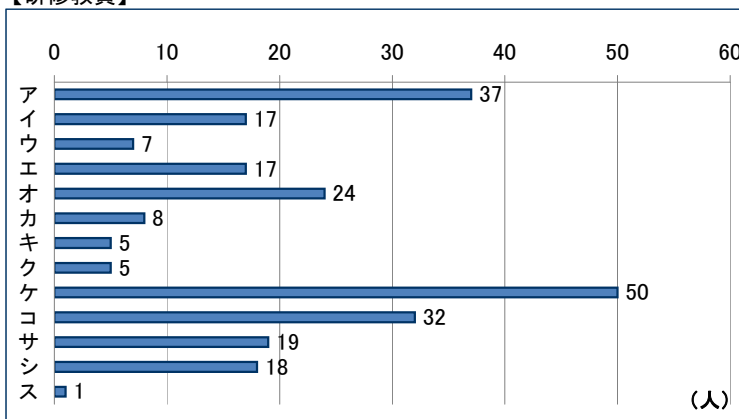
5-1 本研修の校内研修のうち、どのような研修が有効だったか。(回答者：校長、研修教員)

【校長】



- ア 教科(学習)指導に関する研修
- イ 児童・生徒指導に関する研修
- ウ 学校経営に関する研修
- エ 教育相談に関する研修
- オ 進路指導に関する研修
- カ 情報機器の活用等に関する研修
- キ 特別支援教育に関する研修
- ク 人権教育に関する研修
- ケ 公開授業と授業研究会
- コ 課題研究
- サ 先輩教員等による授業
- シ 管理職等の講話
- ス その他

【研修教員】



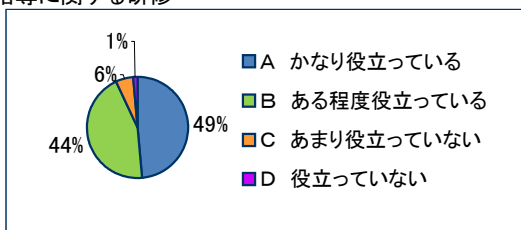
- ア 教科(学習)指導に関する研修
- イ 児童・生徒指導に関する研修
- ウ 学校経営に関する研修
- エ 教育相談に関する研修
- オ 進路指導に関する研修
- カ 情報機器の活用等に関する研修
- キ 特別支援教育に関する研修
- ク 人権教育に関する研修
- ケ 公開授業と授業研究会
- コ 課題研究
- サ 先輩教員等による授業
- シ 管理職等の講話
- ス その他

5-2 校内研修で、特に工夫した点。(主な記述内容)(回答者：校長)

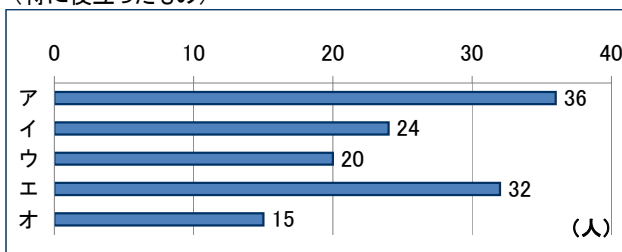
- ・2週間の公開授業を設け、10年目研修教員だけでなく全教員の普段の授業を公開し、相互研修になった。
- ・スクールカウンセラーとの連携を深める機会や講話などの研修を多くして、学校全体で教育相談等に取り組むこと。
- ・2年の担任であったが、3年生の志望校検討会等にも参加することにより、進路指導について勉強する意欲を高めた。
- ・自主教材やテスト問題作成における留意事項、中高双方の学習指導要領、学級経営の実践について研修を行った。
- ・各主任および係を講師として本校が当面する課題や、研修教員が担当する校務などをテーマとして、講義ばかりでなくOJTとしても研修を実施した。
- ・児童・生徒の実態把握のため検査方法(発達検査、知能検査)の研修が有効であった。

6 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役に立ったか。(回答者：研修教員)

(1) 学習指導に関する研修

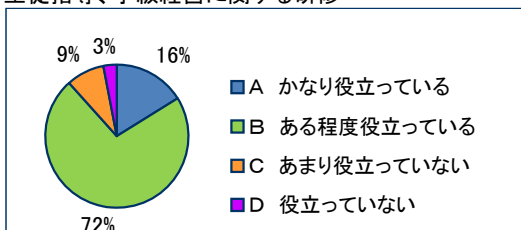


(特に役立ったもの)

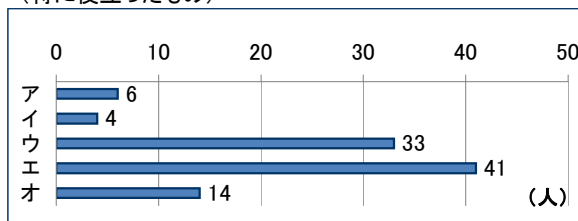


- ア 教科別分科会
- イ 公開授業A、授業研究会
- ウ ビデオによる授業研究
- エ 課題研究
- オ 児童・生徒等による授業評価
- カ その他

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修

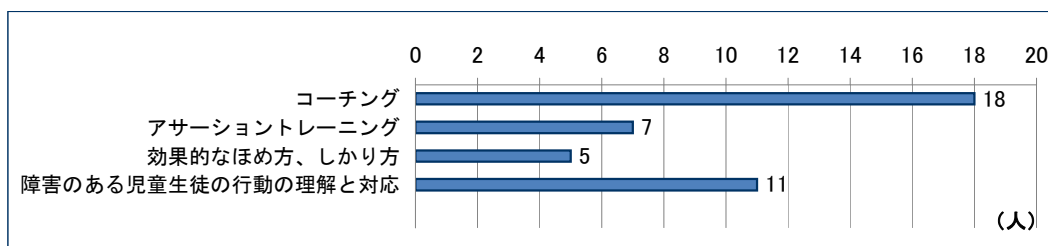


(特に役立ったもの)

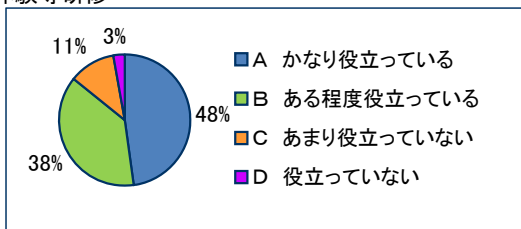


- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
- イ 講話「学校における児童生徒理解」
- ウ 演習「児童生徒、保護者の理解～ロールプレイングを用いて～」
- エ 児童・生徒指導に関する選択研修
- オ 地域における児童・生徒指導の在り方

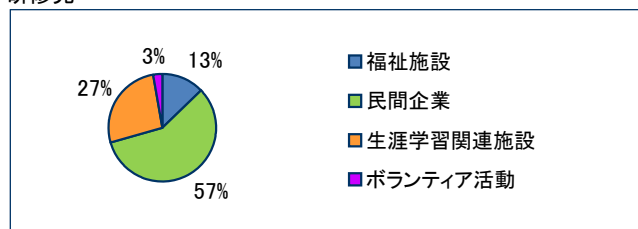
※「エ 児童・生徒指導に関する選択研修」を選んだ研修教員の選択したコース



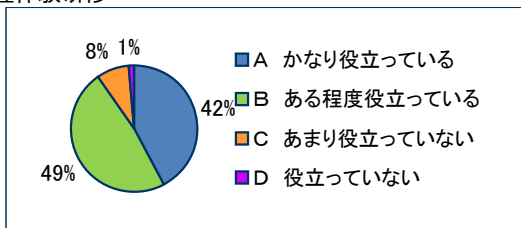
(3) 社会体験等研修



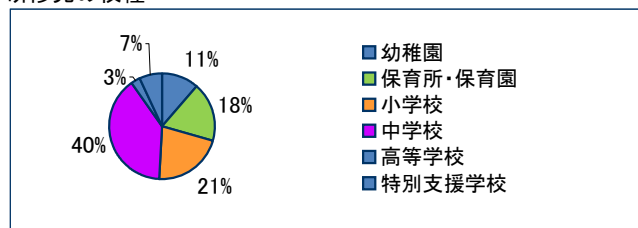
研修先



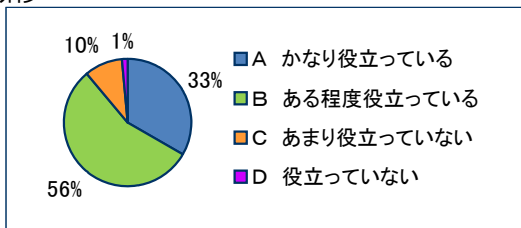
(4) 異校種体験研修



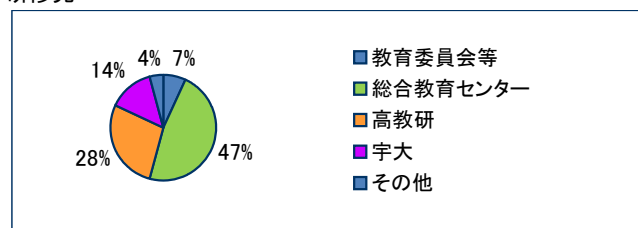
研修先の校種



(5) 選択研修



研修先



- 7 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等。
(回答者：校長、研修教員)

【校長】

- ・ミドルリーダーに必要な資質や能力に関する研修
- ・サイクルマネジメントに関する講義
- ・教科指導や学習指導能力を向上させる研修の一層の充実
- ・例えば一日を20年目研修と同一日に設定して合同で研修し、相互に教育論を戦わせたり、協力して一つのものを作り上げたりするような研修
- ・クラス経営、学年経営、学校経営における危機管理の在り方などについての研修
- ・新学習指導要領についての研修
- ・教育法規関係の研修の充実
- ・免許更新制度と関連するような研修
- ・保護者面談等、保護者との関わりに関する研修
- ・コミュニケーションを高める研修
- ・組織マネジメント等に関する研修
- ・教育を取り巻く状況や様々な教育情報等を知り、自分の行っている教育活動を多角的視野で捉えられるような研修

【研修教員】

- ・授業名人と言われている先生達の講話。進学校の場合と困難校の場合について、それぞれの話が聞けるとよい。
- ・落語家等を講師として、話で気を引く方法、間の使い方などの講座
- ・保護者から教育委員会への苦情・裁判になった事例とそれに対する適切な対応についての研修
- ・指導主事の先生方による模範授業見学
- ・自閉症児教育に関する講演、公開研究、具体的実践例の紹介等

終わりに、アンケートに御協力いただいた、関係各学校の校長先生並びに平成19年度研修教員の先生方、各教育事務所、各市町教育委員会に感謝申し上げます。

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート

- 該当する校種を○で囲んでください。（ 小学校 ・ 中学校 ）
- 平成20年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

- 1 研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。
- (1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
- A かなり向上した B ある程度向上した
- C あまり向上していない D 全く向上していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。	
観	・年間指導計画の立案・実施 (A B C D)
点	・教材研究 (A B C D)
	・授業の基本技術 (A B C D)
	・わかる授業の展開 (A B C D)
	・指導に生かす評価 (A B C D)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。	
観	・児童・生徒指導の意義と理念の理解 (A B C D)
	・児童生徒理解 (A B C D)
	・問題行動等への対応 (A B C D)
点	・自己指導能力の向上に向けての指導 (A B C D)
	・組織的対応 (A B C D)
ウ 研修成果を生かし、学級経営力が向上しましたか。	
観	・学級経営目標達成のための取組 (A B C D)
	・児童生徒との信頼関係 (A B C D)
	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり (A B C D)
点	・保護者との連携 (A B C D)
	・学級事務や教室環境の整備 (A B C D)

- (2) ア～ウの項目以外のことについては、 内にお書きください。

- 2 校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。（「平成19年度 教職10年目研修の手引」P.6参照）

- (1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
- A 十分に活用した B ある程度活用した
- C あまり活用しなかった D 全く活用しなかった

- (2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。
- 活用したことでどんな効果がありましたか。以下のア～エの当てはまるものすべてを○で囲んでください。なお、効果を高めるために特に工夫した点があれば、 内にお書きください。

- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
- イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
- ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
- エ その他 ()

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。

- A かなりあった B ある程度あった
C あまりなかった D 全くなかった

(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。

どんな効果や影響がありましたか。以下のア～カの当てはまるものすべてを○を囲んでください。

- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。
エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
カ その他 ()

4 平成19年度の校内研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スの当てはまるものすべてを○で囲んで、特に工夫した点があれば 内に具体的にお書きください。

- | | |
|------------------|------------------|
| ア 教科(学習)指導に関する研修 | イ 児童・生徒指導に関する研修 |
| ウ 学校経営に関する研修 | エ 教育相談に関する研修 |
| オ 進路指導に関する研修 | カ 情報機器の活用等に関する研修 |
| キ 特別支援教育に関する研修 | ク 人権教育に関する研修 |
| ケ 公開授業と授業研究会 | コ 課題研究 |
| サ 先輩教員等による授業 | シ 管理職等の講話 |
| ス その他 () | |

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、市町村教育委員会へ送付してください。

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート

- 該当する校種を○で囲んでください。（ 小学校 ・ 中学校 ）
- 平成 20 年 10 月までの研修教員の状況等をとらえて、次の 1 から 5 の質問にお答えください。

- 1 研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。
- (1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
- A かなり向上した B ある程度向上した
- C あまり向上していない D 全く向上していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。	
観	・年間指導計画の立案・実施 (A B C D)
観	・教材研究 (A B C D)
点	・授業の基本技術 (A B C D)
点	・わかる授業の展開 (A B C D)
点	・指導に生かす評価 (A B C D)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。	
観	・児童・生徒指導の意義と理念の理解 (A B C D)
観	・児童生徒理解 (A B C D)
点	・問題行動等への対応 (A B C D)
点	・自己指導能力の向上に向けての指導 (A B C D)
点	・組織的対応 (A B C D)
ウ 研修成果を生かし、学級経営力が向上しましたか。	
観	・学級経営目標達成のための取組 (A B C D)
観	・児童生徒との信頼関係 (A B C D)
点	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり (A B C D)
点	・保護者との連携 (A B C D)
点	・学級事務や教室環境の整備 (A B C D)

- (2) ア～ウの項目以外のことについては、 内にお書きください。

- 2 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいますか。

- (1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
- A 積極的に取り組んでいる B ある程度取り組んでいる
- C あまり取り組んでいない D 全く取り組んでいない

- (2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。

どんな研修に取り組んでいますか。以下のア～キの当てはまるものすべてを○で囲んでください。

なお、どのように進めているのか 内に具体的にお書きください。

- ア 学習指導 イ 児童・生徒指導 ウ 学級経営 エ 道徳教育 オ 特別活動
- カ 特別支援教育 キ その他 ()

3 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ちましたか。(1)～(6)の項目について、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。なお、(1)～(2)については、特に役立ったものすべてを○で囲んでください。

- A かなり役立っている B ある程度役立っている
C あまり役立っていない D 役立っていない

(1) 学習指導に関する研修 (A B C D)

- ア 講話「今、求められる学習指導の在り方」 イ 教科別分科会
ウ 公開授業A、授業研究会 エ ビデオによる授業研究
オ 課題研究 カ 児童・生徒等による授業評価
キ その他 ()

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修 (A B C D)

- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
イ 児童・生徒指導に関する選択研修
 (イを選んだ方は、選択したコースの□にチェックを付けてください。
 □ 構成的グループエンカウンター □ アサーショントレーニング
 □ ロールプレイング □ 事例研究
ウ 実践発表「私の進めた学級経営～望ましい集団活動を通して～」
エ 地域における児童・生徒指導の在り方
オ その他 ()

(3) 道徳教育に関する研修 (A B C D)

(4) 社会体験等研修 (A B C D)

- (研修場所の□にチェックを付けてください。
□ 福祉施設 □ 民間企業 □ 生涯学習関連施設 □ ボランティア活動

(5) 異校種体験研修 (A B C D)

- (研修先校種の□にチェックを付けてください。
□ 幼稚園 □ 保育所・保育園 □ 小学校 □ 中学校 □ 高等学校 □ 特別支援学校

(6) 選択研修 (A B C D)

- (主催機関等の□にチェックを付けてください。
□ 教育委員会等 □ 宇都宮大学 □ 宇都宮大附属小・中学校
□ 小・中学校教育研究会 □ 総合教育センター □ その他

4 平成19年度の校内研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スの当てはまるものすべてを○で囲んでください。

- ア 教科(学習)指導に関する研修 イ 児童・生徒指導に関する研修
ウ 学校経営に関する研修 エ 教育相談に関する研修
オ 進路指導に関する研修 カ 情報機器の活用等に関する研修
キ 特別支援教育に関する研修 ク 人権教育に関する研修
ケ 公開授業と授業研究会 コ 課題研究
サ 先輩教員等による授業 シ 管理職等の講話
ス その他 ()

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。11月4日(火)までに校長に提出してください。

教職10年目研修（高等学校・特別支援学校）事後アンケート

- 該当する校種を○で囲んでください。（ 高等学校 ・ 特別支援学校 ）
- 平成20年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

1 研修教員は研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。

(1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。

- A かなり向上した B ある程度向上した
C あまり向上していない D 全く向上していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。	
観	・年間指導計画の立案・実施 (A B C D)
	・教材研究 (A B C D)
点	・授業の基本技術 (A B C D)
	・わかる授業の展開 (A B C D)
	・指導に生かす評価 (A B C D)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。	
観	・児童・生徒指導の意義と理念の理解 (A B C D)
	・児童生徒理解 (A B C D)
点	・問題行動等への対応 (A B C D)
	・自己指導能力の向上に向けての指導 (A B C D)
	・組織的対応 (A B C D)
ウ 研修成果を生かし、HR・学級経営力が向上しましたか。	
観	・HR・学級経営目標達成のための取組 (A B C D)
	・児童生徒との信頼関係 (A B C D)
点	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり (A B C D)
	・保護者との連携 (A B C D)
	・HR・学級事務や教室環境の整備 (A B C D)

(2) ア～ウの項目以外のことについては、 内にお書きください。

2 校長は、研修後評価の結果を研修教員に説明し、その後の指導や研修に活用することになっています。

(「平成19年度 教職10年目研修の手引」P.7参照)

(1) 研修後評価をその後の指導や研修に活用しましたか。A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。

- A 十分に活用した B ある程度活用した
C あまり活用しなかった D 全く活用しなかった

(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。

活用したことでどんな効果がありましたか。以下のア～エの当てはまるものすべてを○で囲んでください。なお、効果を高めるために特に工夫した点があれば、 内にお書きください。

- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
エ その他 ()

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。

- A かなりあった B ある程度あった
C あまりなかった D 全くなかった

(2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。

どんな効果や影響がありましたか。以下のア～カの当てはまるものすべてを○を囲んでください。

- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。
エ 研修教員を指導する教員にもよい刺激となった。
オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
カ その他 ()

4 平成19年度の校内研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スの当てはまるものすべてを○で囲んで、特に工夫した点があれば 内に具体的にお書きください。

- | | |
|------------------|------------------|
| ア 教科(学習)指導に関する研修 | イ 児童・生徒指導に関する研修 |
| ウ 学校経営に関する研修 | エ 教育相談に関する研修 |
| オ 進路指導に関する研修 | カ 情報機器の活用等に関する研修 |
| キ 特別支援教育に関する研修 | ク 人権教育に関する研修 |
| ケ 公開授業と授業研究会 | コ 課題研究 |
| サ 先輩教員等による授業 | シ 管理職等の講話 |
| ス その他 () | |

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、総合教育センターへ送付してください。

教職10年目研修（高等学校・特別支援学校）事後アンケート

- 該当する校種を○で囲んでください。（ 高等学校 ・ 特別支援学校 ）
 平成20年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

- 1 研修終了後、研修の成果を生かし、指導力が向上しましたか。
 (1) 次のア～ウの項目に関する観点ごとに、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
 A かなり向上した B ある程度向上した
 C あまり向上していない D 全く向上していない

ア 研修成果を生かし、学習指導力が向上しましたか。	
観 点	・年間指導計画の立案・実施 (A B C D)
	・教材研究 (A B C D)
	・授業の基本技術 (A B C D)
	・わかる授業の展開 (A B C D)
	・指導に生かす評価 (A B C D)
イ 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上しましたか。	
観 点	・児童・生徒指導の意義と理念の理解 (A B C D)
	・児童生徒理解 (A B C D)
	・問題行動等への対応 (A B C D)
	・自己指導能力の向上に向けての指導 (A B C D)
	・組織的対応 (A B C D)
ウ 研修成果を生かし、HR・学級経営力が向上しましたか。	
観 点	・HR・学級経営目標達成のための取組 (A B C D)
	・児童生徒との信頼関係 (A B C D)
	・児童生徒相互の好ましい人間関係づくり (A B C D)
	・保護者との連携 (A B C D)
	・HR・学級事務や教室環境の整備 (A B C D)

- (2) ア～ウの項目以外のことについては、 内にお書きください。

- 2 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在、自主研修に取り組んでいますか。
 (1) A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。
 A 積極的に取り組んでいる B ある程度取り組んでいる
 C あまり取り組んでいない D 全く取り組んでいない
 (2) (1)でAまたはBを選んだ方は、次のことにお答えください。
 どんな研修に取り組んでいますか。以下のア～キの当てはまるものすべてを○で囲んでください。
 なお、どのように進めているのか 内に具体的にお書きください。
 ア 学習指導 イ 児童・生徒指導 ウ HR・学級経営 エ 特別活動
 オ 特別支援教育 カ その他 ()

3 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ちましたか。(1)～(5)の項目について、A～Dの当てはまるものを○で囲んでください。なお、(1)～(2)については、特に役立ったものすべてを○で囲んでください。

A かなり役立っている B ある程度役立っている
C あまり役立っていない D 役立っていない

(1) 学習指導に関する研修 (A B C D)

ア 教科別分科会 イ 公開授業A、授業研究会 ウ ビデオによる授業研究
エ 課題研究 オ 児童・生徒等による授業評価
カ その他 ()

(2) 児童・生徒指導、HR・学級経営に関する研修 (A B C D)

ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」 イ 講話「学校における児童生徒の理解」
ウ 演習「児童生徒、保護者の理解～ロールプレイングを用いて～」
エ 児童・生徒指導に関する選択研修

〔エを選んだ方は、選択したコースの□にチェックを付けてください。〕
□ コーチング □ アサーショントレーニング
□ 効果的なほめ方、しかり方 □ 障害のある児童生徒の行動の理解と対応

オ 地域における児童・生徒指導の在り方
カ その他 ()

(3) 社会体験等研修 (A B C D)

〔研修場所の□にチェックを付けてください。〕
□ 福祉施設 □ 民間企業 □ 生涯学習関連施設 □ ボランティア活動

(4) 異校種体験研修 (A B C D)

〔研修先校種の□にチェックを付けてください。〕
□ 幼稚園 □ 保育所・保育園 □ 小学校 □ 中学校 □ 高等学校 □ 特別支援学校

(5) 選択研修 (A B C D)

〔主催機関等の□にチェックを付けてください。〕
□ 教育委員会等 □ 宇都宮大学 □ 高等学校教育研究会
□ 総合教育センター □ その他

4 平成19年度の校内研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スの当てはまるものすべてを○で囲んでください。

ア 教科(学習)指導に関する研修 イ 児童・生徒指導に関する研修
ウ 学校経営に関する研修 エ 教育相談に関する研修
オ 進路指導に関する研修 カ 情報機器の活用等に関する研修
キ 特別支援教育に関する研修 ク 人権教育に関する研修
ケ 公開授業と授業研究会 コ 課題研究
サ 先輩教員等による授業 シ 管理職等の講話
ス その他 ()

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば [] 内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。11月4日(火)までに校長に提出してください。